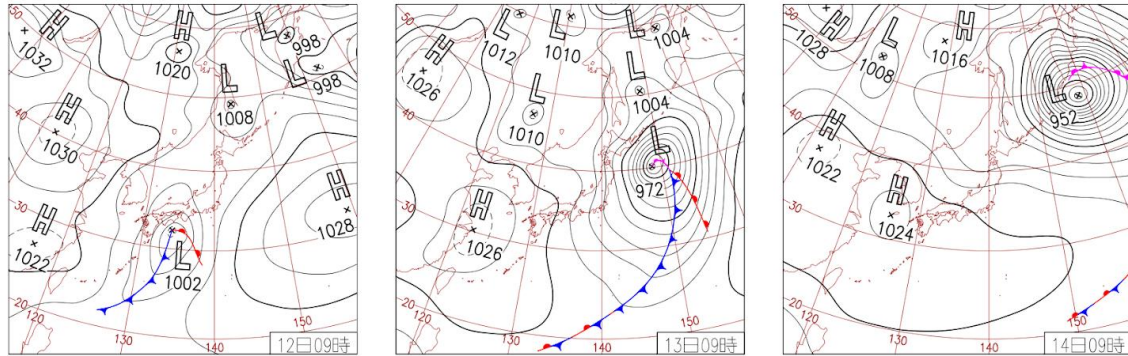


立体天気図

高 1 阿野守直

みなさんが普段何気なく見ている天気予報は、「天気図」というものが元となって組み立てられています。文化祭では、天気図が表すものをさらに視覚的に分かりやすくするために立体化し、気圧の高低を高さで表現したものを製作して展示しています。

今回は、2024 年 3/12～3/14 の天気図を使用して制作しました。



- ・天気図に描かれているたくさんの線

(出典:気象庁ホームページ)

まず、天気図を見ると、黒い線が沢山引かれています。これは「等圧線」と呼ばれるもので、気圧の等しいところを結んだ線となっています。気圧とは、単位面積当たりの上にある大気の重さのことです。

- ・「H」マークや「L」マークの意味

天気図には「H」や「L」というマークがあります。「H」マークは高気圧という意味で、周囲よりも気圧が高い部分を示しています。「L」マークは低気圧という意味で、周囲よりも気圧が低い部分を示しています。「H」や「L」の下には数値が書かれていますが、この数値が中心の気圧の値になります。

また、矢印はこれから移動する方向を示していて、近くに速度が書いてあります。一部の高気圧・低気圧については、以下のように書くこともあります。

SLOW…ゆっくり進んでいる Developing…発達中 Developed…発達した

【前線】

前線とは、性質の異なる空気の境目の線のことです。

前線には 4 種類あり、それぞれ異なる特徴を持っていて、天気図上では、右図のように半円と三角形を用いてそれぞれが区別できるように描きます。

1. 温暖前線

暖気が寒気の上に乗り上げるようにして進む前線です。

2. 寒冷前線

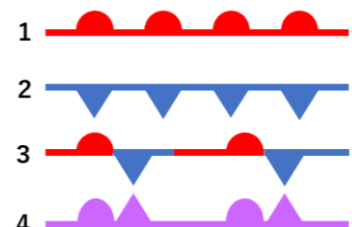
寒気が暖気の下に潜り込むようにして進む前線です。

3. 停滞前線

暖気と寒気の勢力が同じで、暖気側にも寒気側にも動きにくい前線です。

4. 閉塞前線(へいそくぜんせん)

寒冷前線が温暖前線に追いつくことで発生する前線です。



図：天気図上の前線